

2024

5

May
No. 375

広報

みしま

Mishima Town Public Relations



三島町の安全のために！「三島町消防団春季検閲式」

三島町消防団の春季検閲式が4月28日、大変暑い中三島中校庭で行われました。

検閲式は消防団員が訓練の成果を披露するとともに車両の点検を行う大切な行事です。

点検者である町長に、団員の品位及び規律を確認する通常点検を受け、消防活動が万全に行えるよう消防車両の点検を実施し、きびきびとした動きを披露しました。

消防団員は、いざという時に迅速に出動できるよう、常に万全の体制を整えています。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

ドキドキわくわく!!新しい生活スタート

三島保育所入所式 (4月4日)



三島保育所入所式は4月4日に行われ、きりん組(年長)2名、ぱんだ組(年中)4名、うさぎぐみ(年少)3名、りすぐみ(2歳児)6名の計15名が入所しました。

子どもたちは一人一人名前を呼ばれると、元気いっぱい返事をすることができました。

三島小学校入学式 (4月8日)



三島小学校入学式は4月8日に行われ、男子7名、女子3名の計10名が入学しました。長澤敏行校長は児童に向けて5本指の約束事「親の言うことを聞く、人に迷惑をかけない、仲良くする、薬の世話にならない、交通事故に遭わない」について話されました。

三島中学校入学式 (4月8日)



三島中学校入学式は4月8日に行われ、男子2名、女子2名の計4名が入学しました。

新入生を代表し、熊谷祐衣さん(宮下)が誓いの言葉を述べ、「将来なりたい自分のために努力したい」と話しました。

当選議員一覧



得票順	氏名	年齢	得票数	党派・新旧
当選	吉垣 絵梨子	39歳	187票	無所属新人
当選	河越 昭利	49歳	181票	無所属新人
当選	青木 喜章	72歳	123票	無所属現職
当選	大竹 克昌	55歳	117票	無所属現職
当選	馬場 学	64歳	115票	無所属新人
当選	菅家 三吉	47歳	100票	無所属現職
当選	五十嵐 健二	69歳	94票	無所属現職
当選	二瓶 俊浩	62歳	87票	無所属現職
落選	矢 澤	76歳	83票	無所属現職

当日有権者	1,263票
期日前投票者	371票
投票所における投票者 (不在者投票を含む)	725票
棄権者	167票
投票総数	1,096票
投票率	86.78%
有効投票	1,087票
無効投票	9票

町議選

8年ぶりの選挙戦 新人3人、現職5人が当選

定員8人に対し
現職6人、新人3人が立候補

任期満了に伴う町議会議員一般選挙は4月16日告示、現職6人、新人3人、計9人が立候補し、8年ぶりの選挙戦となりました。

期日前投票は4月17日から20日まで町民センターで行われ、4月21日に各投票所で投票が行われました。開票は同日午後7時30分から町民センター大ホールで行われました。

開票にあたっては、事前にリハーサルを行い、当日はスムーズに開票が行われ、約40分で開票結果が判明しました。

投票率は86・78%で平成28年の町議選の84・89%を1・89ポイント上回りました。

三島町議会議員当選証書授与式

4月22日、町民センター大ホールにて当選証書授与式が行われ、選挙管理委員会の諏訪義幸委員長から、当選者8名に当選証書が手渡されました。諏訪委員長は「三島の将来のため、力量を存分に発揮され、情熱をもって町づくりのために、ご尽力いただきたい」と話し、また矢澤町長は「三島町が抱える課題解決に取り組み、町民の方々が住み続けたいと思える町づくりに取り組んで参りましょう」と述べました。

なお任期は、令和6年5月11日から令和10年5月10日までの4年間です。

赤城 チヨミさん・百歳賀寿贈呈式

赤城チヨミさん（宮下）の百歳賀寿贈呈式が行われました。赤城さんは4月23日に誕生日を迎えられ、桐寿苑において矢澤町長からお祝い状と記念品、花束が手渡されました。長寿の秘訣は「若い時によく体を動かしていたこと」と話されていました。

赤城さんのますますのご長寿をお祈りいたします。



▲赤城チヨミ（宮下）さん

「台湾東部沖地震」に対する義援金の寄託 佐久間建設工業株式会社

左から矢澤町長、佐久間建設工業
（株）佐藤岩男社長、佐久間源一
郎会長



4月8日、佐久間建設工業株式会社の佐久間源一郎会長、佐藤岩男社長が役場を訪れ、日本赤十字福島県支部三島分区長である矢澤源成町長に台湾東部沖地震で被災された方々を支援するために義援金をいただきました。

学校教育の更なる向上へ期待！！

令和6年度 三島町教職員着任式

4月3日、町民センター大ホールで三島町教職員着任式が行われました。はじめに、着任された教職員の皆様に向け、山口浩教育長から歓迎の言葉が述べられました。

次に着任された教職員の人柄が偲ばれる紹介が行われました。続いて矢澤源成町長から保小中連携の三島町ならではの少人数教育の充実について期待するという挨拶がありました。最後に着任教職員代表挨拶として三島中酒井康雄校長が三島町学校教育の発展と推進を誓いました。

三島町教育委員会では保小中学校や地域住民の皆様と連携を密にし更なる学校教育の向上を目指しております。



▲教職員の方々



▲三島中酒井康雄校長

「第53回日本農業賞」大賞受賞

JA会津よつば かすみ草部会

日本農業賞は、NHKと全国農業協同組合中央会が、日本農業の確立をめざして、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展にも貢献している農業者と営農集団や先進的な取り組みをしている個人・集団組織を表彰しています。

JA会津よつば「かすみ草部会」は、中山間・特別豪雪地帯にある奥会津4町村（昭和村・柳津町・金山町・三島町）の宿根かすみ草生産者で構成されています。現在は、新規就農者が増加し、令和5年度には過去最高となる生産本数532万本、販売額6億円を達成するなど一大産地に成長しています。

奥会津地域のかすみ草栽培の特徴としては、雪を利用した集出荷場「雪室」は鮮度保持の点で優れており、夏秋期の高温期にも鮮度が高く抜群の評価を得ています。これまでの取り組みが地域振興や地域活性化に大きく寄与していることが高く評価され大賞を受賞されました。



▲左から矢澤町長、立川幸一会長、
工信幸副会長

固定資産評価委員

飯塚国英さんを選任（3期目）

町議会3月定例会において、飯塚国英さん（大石田）が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。任期は、令和6年3月20日から3年間です。固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に対する納税者からの不服を審査決定するために設置された第三者機関です。現在、飯塚さんの他に片山一雄さん（松原）と佐久間宗一さん（宮下）が委員として活動しています。



▲左から矢澤町長、飯塚国英さん

町民記者通信

住みよい地区づくりを目指した地区総会（3月24日）

本名 与四郎さん（西方）

3月24日の午前10時より西方ふるさとセンターにおいて、「西方地区総会」が行われました。はじめに、区長の五ノ井隆一さんが本年度計画された諸活動が地区住民の理解と協力の下、コロナ感染も落ち着き、4年ぶりに順調に執り行われたことに対して感謝の意を述べました。特に、町教育委員会、三島中学校の協力による「虫送り」が開催できたことに対する喜びと謝意の言葉もありました。また、白岩から大林一帯の巻き狩りを実施し、熊の巣穴と痕跡が見つかったこともあり、注意を呼びかけました。

本題である協議事項は事業報告（計画）、一般・特別会計収支決算（予算案）、など多岐にわたって慎重審議がなされました。それぞれの協議事項について、地区住民から建設的で忌憚のない要望や質問が多数出され、充実した実りのある地区総会となりました。

「住民の 声がとどくと 地区総会」
「夜警を やりたくても 熊恐ろしい」



春日神社春祭り（4月11日）

阿部 和彦さん（桧原）

桧原地区の春の例大祭が春日神社本殿において神社総代と地区役員の6名が参加し、正午より青木則勝宮司による祭典が厳粛に執り行われました。次に総代長と区長により玉串奉奠が実施され、地区の皆様の健康と繁栄、五穀豊穡を祈願いたしました。その後、直会を行い、今年一年幸せに、毎日を楽しみ過ごすことができるように心掛けて生活することを皆で話し合いました。

**早戸大山祇神社、温泉神社で春祭（4月12日）**

橋本 光五郎さん（早戸）

4月12日、早戸地区の大山祇神社と温泉神社で例年どおり宮司を迎え春祭が執り行われました。

桜がほころび始める中、冬の間、閉じていた神社を開け、しめ縄を新しくし、家内安全、集落の安全そして温泉を訪れるお客様の安全を祈念しました。春祭が終わると、いよいよ春の活動が始まっています。何かウキウキしながらも忙しい季節になってきました。

**1年間の無火災・無災害を祈る～無火災祈願祭行われる～（4月11日）**

小島 純さん（宮下）

令和6年度宮下地区無火災祈願祭が三島神社社殿において厳かに執り行われました。午前10時、大太鼓の音が町内に鳴り響き、祈願祭が始まりました。

青木宮司の祝詞奏上後、参集した酒井佐一神社総代長、町長、消防団、消防署、警察署、町内事業所の代表の方々がお祓いを受けました。

青木宮司が社殿より町内に向け、お祓いした後、それぞれ代表が神前に玉串を捧げ、今年1年の無火災無災害を祈願しました。

**「ボランティア こぶしの会」総会（4月14日）**

佐久間 絹江さん（滝原）

令和6年度「ボランティア こぶしの会」の活動が、総会を皮切りに始動しました。資料に基づき、令和5年度の反省及び令和6年度計画が承認され総会終了後、早速国道沿いのごみ拾いが行われました。

林業活性化センターを中心に二手に別かれ、宮下方面と早戸方面それぞれのスノーシェッド前まで、通行車両に気をつけながら清掃活動に汗を流しました。花見シーズンとなり交通量も増えてきましたが、異常気象の暖冬と季節外れの降雪とで大地の芽吹きも例年よりゆっくりな様で、ごみの量も少なく感じられました。（ドライバーのマナー向上も見られました）作業後の弁当は各自持ち帰りとし、解散しました。

**早戸地区総会を開催（3月24日）**

橋本 光五郎さん（早戸）

3月24日に早戸地区の総会が開催されました。早戸地区では会計年度を3月1日から2月末日としていることからこの時期に開催されるものです。

区長挨拶の後、議事に入りました。議事では、五十嵐登美雄区長から令和5年度の活動報告と決算報告がなされ、令和6年度の活動予定と予算案が提示されました。どちらも審議の結果、特段の異議はなく無事承認されました。また、新区長には佐久間一男氏が選出されました。

その後、町への地区要望事項や地区としての活動等について意見交換が行われ、最後に新区長が挨拶し総会は無事終了しました。

**大林管理棟とふるさとセンター冬囲い外し**

本名 与四郎さん（西方）

今年も地区委員による大林公園管理棟の冬囲い撤去作業が行われました。作業当日は朝から小雨混じりの天候でしたが、時間が経過するにつれて曇り空となり作業の開始となりました。

今年は、例年になく積雪量が少なく、もうすでに大林ふるさと管理棟周辺には日陰のくぼ地を除いて残雪はありませんでした。管理棟二階のベランダには、雨風や吹雪で飛ばされた多くの杉の枝、葉などで床一面を覆い尽くされていました。竹ぼうきやスコップを使ってきれいに取り払われ、溜まった雪雨水も解消しました。地区委員の方々は、大林管理棟の撤去作業が終了した後、休む暇もなく、ふるさとセンターの冬囲い撤去作業に取り組みました。冬囲いの板や固定されていた接続パイプ管を傷つけないように、丁寧に取り外す作業が手際よく行われました。

「冬囲い 雪国だけの 風物詩」
「設置より 冬囲い外し 安直です」

**地区民によるカタクリ整備作業（4月6日）**

本名 与四郎さん（西方）

4月6日の午前8時30分より大林公園ふるさとの山のカタクリ整備作業が行われました。

作業当日は朝から天候に恵まれたこともあり、30名以上の地区住民が参加しました。五ノ井隆一区長より作業内容や方法などの挨拶が終わると、さっそく整備作業に取りかかりました。カタクリを傷つけないように両サイドを細い紐（ロープ）で歩道を分かりやすくしたり、進行方向を示す看板を立てたりしました。

今年は、例年になく積雪が少なかったにもかかわらず、3月中旬頃から朝夕の寒い日が続き、大林公園のいたるところに残雪があり、桜とカタクリの開花は1週間以上遅くなっている様子でした。

「カタクリ・さくらまつり」の開催期間は、4月12日から14日までの3日間でしたが、開催期間が過ぎても、高貴な紫色のカタクリと薄紅色のさくらのコラボレーションが楽しめ、町からの情報を得ながら、多くの家族連れやバスツアーが写真を撮影に訪れました。

「西方の ビューポイントは 大林」
「先人の 山を守りて 今がある」



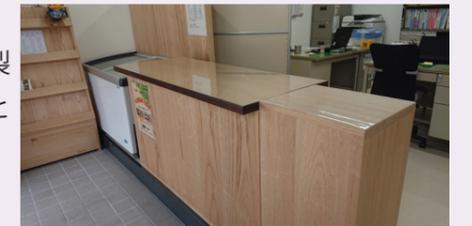
会津桐の振興

全国的に有名な桐の産地である三島町では、桐を「金の木」と呼んでおり、「娘が生まれたら金の木を3本植えろ」と言われていました。「金の木」は成長が早く、娘が嫁に行くころには嫁入りの費用を賄えたからです。三島町でも栽培者が高齢化し、桐の値段も昔ほどではなくなったことから、桐栽培が衰退しました。昔は家のまわりの畑で丁寧に手を加えて育てていましたが、今では森林（山）を伐採した跡地に町が桐を約900本植栽して管理しています。

今回は町内の各施設に導入した会津桐製品を紹介します！

食鳥処理施設

展示販売スペース内のカウンターや商品棚、展示パネル等に会津桐製品を導入しました。観光客や仕入れ業者等に会津桐の良さを伝えるとともに会津地鶏以外の町の特産を知って頂ければと思います。



三島町サービスステーション（ガソリンスタンド）

休憩スペース内のカウンターやイス、収納棚等に会津桐製品を導入しました。町内外からの利用者に対して町の特産品である会津桐製品をPRしております。



ふるさと荘

ロビー内のテーブルとイスに会津桐製品を導入しました。2つあるテーブルのうち1つには只見川をイメージした緑色のロジン（松やにの主成分である天然樹脂）を試用し、作製されました。ふるさと荘を利用する町内外の人たちに休憩の場として活用して頂き、会津桐製品の良さを感じてもらいたいと思います。



三島小学校

三島小学校の教室の机とイスに会津桐製品を導入しました。子どもの頃から会津桐を使用した学習机で桐製品に親しんでもらい、あわせて「桐の森林学習」で三島の桐について学びを深めてほしいと思います。



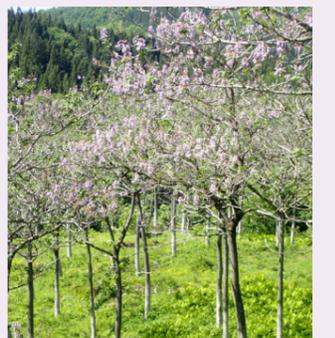
三島町で生産された桐の木



桐の丸太



石坂の桐林



黒男山の桐林

地域おこし協力隊

活動誌

新たな取り組みについて

西田 星弥

地域おこし協力隊の西田です。本年度も既に約2か月ほど経過しました。

残りの任期も1年と数か月しかないということ。最近はその年度の計画に加え、任期後にどのように三島町に関わっていくのかに焦点を当てて事業を検討しています。現時点では本年度よりWeb制作（ホームページ制作等）を事業として展開していく予定です。かなり少額で制作し、保守を請け負うビジネスモデルなので、自営業や法人の方でブランディング用サイトが必要な場合はご相談いただければ

幸いです。

個人的な話はこちらまでとして、本年度より協力隊の業務としてはECサイトの運用を順次開始する予定となっております。当初の計画よりも予算、規模ともに下方修正されたため小規模での運用開始となります。初年度は商品数も限定しての展開となりますが、最終的には三島町産の商品を幅広くラインナップし、事業者の所得向上を達成できるよう最善を尽くしたいと思っております。

この記事を書く際に毎度のことですが、普段の業務がPCでの作業が多いため記事用の写真が用意できず苦戦しています。今回も代わり映えがなく恐縮ですが、調整中のECサイトのイメージ画像を添えておきます。



伝統的工芸品制作映像集「手技 TEWAZA」完成・公開

－奥会津編み組細工－



皆さま「伝統的工芸品」をご存じですか。主要な工程が手づくりであること、100年以上前からつくり続けられていることなどを条件に経済産業大臣が指定する工芸品です。全国では241品目の登録があり、福島県では当町の奥会津編み組細工をはじめ、会津塗、大堀相馬焼、会津本郷焼、奥会津昭和からむし織の5品目が指定を受けています。

さて、この度伝統的工芸品産業振興協会が主催する伝統的工芸品制作映像集「手技 TEWAZA 奥会津編み組細工」が公開となりました。これは昨年7月より町内の4名の方にご出演をいただき、マタタビ、ヒロロ、山ブドウの使用や制作風景について撮影をさせていただいたものです。伝統工芸品の販売施設である「伝統工芸青山スクエア」のYouTubeチャンネルにて全世界へ発信しているほか、生活工芸館内のギャラリーにてご覧いただけます。ぜひ一度のぞいてみてください。

【手技 TEWAZA 「奥会津編み組細工」】
<https://www.youtube.com/watch?v=8O6HSICNtkA>

右QRコードからもご覧いただけます。

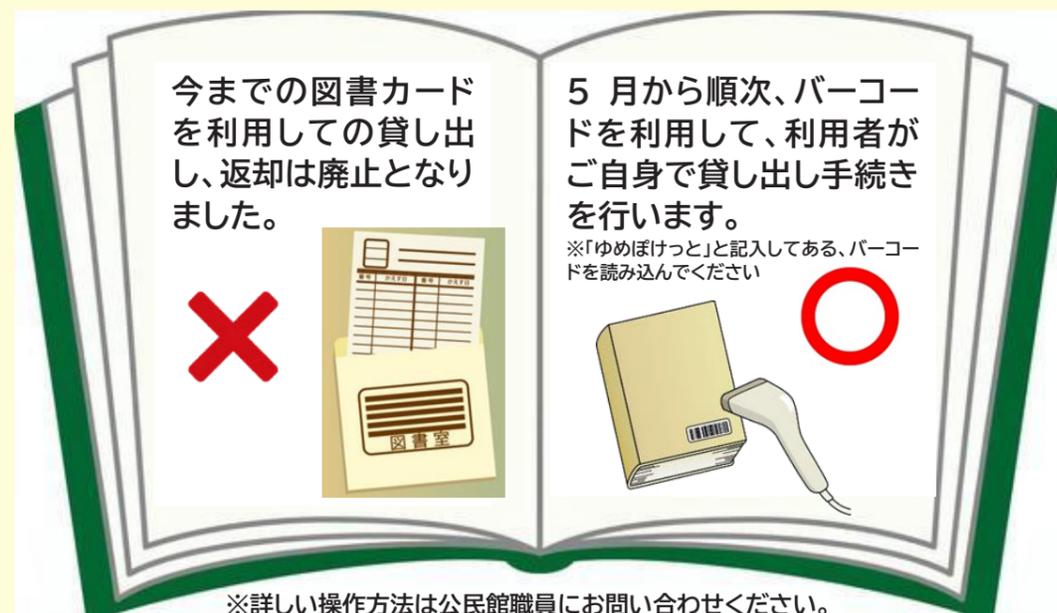


☎三島町生活工芸館 ☎(48) 5502

工芸館だより ③6 ものづくりの伝承

三島町公民館『ゆめぼけっと（図書コーナー）』の貸出システムが新しくなりました！

町民センター ゆめぼけっと（図書コーナー、2階図書室）全ての本に「ゆめぼけっと」のバーコードの貼り付け作業が完了しました。バーコードで管理することによって、正確な蔵書管理と貸し出し状況の確認が簡単にできるようになりました。また、以前は貸出カードに個人番号と貸出日を記入していただいていたのですが、今後は自分のバーコードと本のバーコードを読み込むだけで、貸出が可能になります。返却される時は、今まで同様に返却ラックに入れて返却してください。



※詳しい操作方法是公民館職員にお問い合わせください。

以前に、「ゆめぼけっと」で図書利用者登録をされた方は個人の貸出バーコードを作成しておりますが、今後新しく登録される方は、公民館職員までお申し付けください。



利用者カードを個人にお渡しいたしますが、忘れた場合は公民館の事務所に台帳がございますので、それを利用して本を借りることができます。

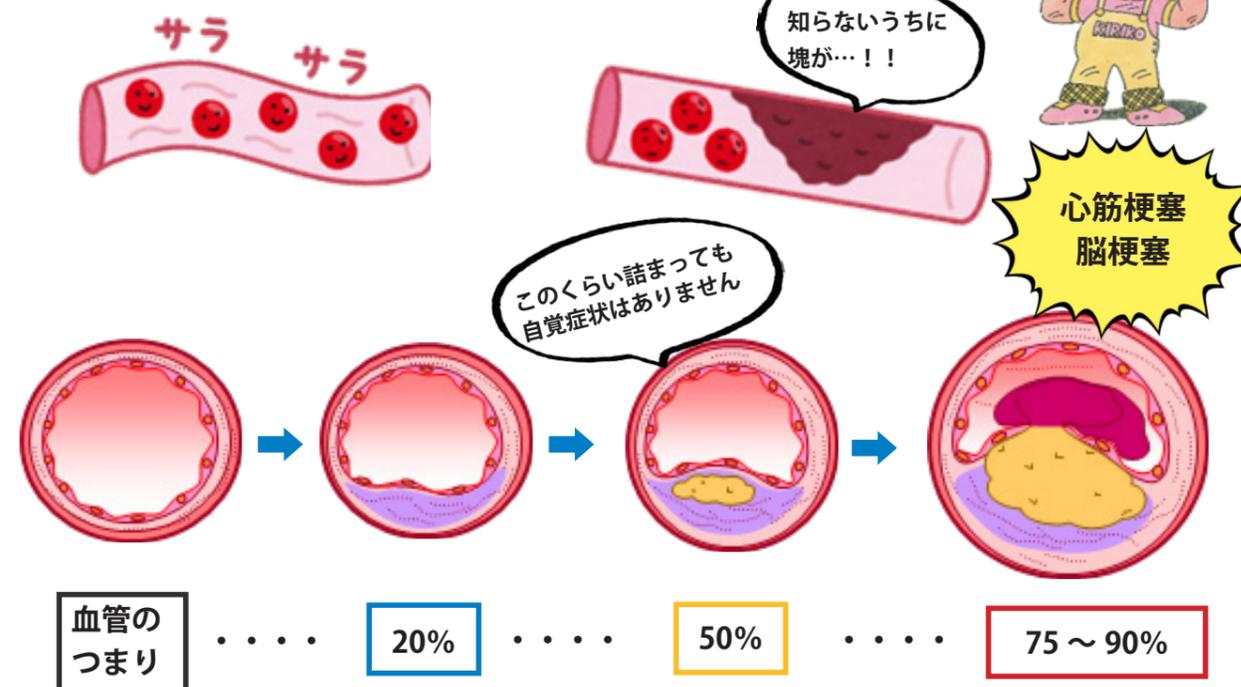
この機会に、是非「ゆめぼけっと」へ足をお運びください。



特定健診・がん検診は
6月23日(日)・24日(月)・25日(火)
に実施します！

vol.91
健康で元気な毎日！
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

健診でわかる「血管の状態・血液の質！」



健診で知っていただきたい、ご自身の体のことがあります

血管は傷ついても痛みを感じません。そのため、健診結果（数値）から今の全身状態を確認することがとても大切です。血管の傷み（動脈硬化）が進むことで起こる心筋梗塞、脳梗塞、腎臓病などの、大きな病気を防ぐことが健診受診の大きな目的です。「悪いところが見つかったら嫌だな…」「もう年だし…」「元気だから大丈夫」と考えている方はいませんか？そんな方にこそ、健診の受診をオススメします！

血管は若返る！？

自分の状態に合わせて血液の質を改善することで、年齢に関わらず2～3年で今とだいぶ違った状態の血管に変えられます。健診の受診は傷んだ血管をもとに戻すための一番のきっかけになるはずです。

三島町の総合健診では以下の健診が受けられます

- ★特定健診（40歳から74歳の方）
- ★後期高齢者健診（75歳以上の方）
- ★若年健診（18歳から39歳の方）
- ★がん検診（肺・胃・大腸・前立腺）

健診は目に見えない部分を見る唯一の方法！ぜひこの機会に！



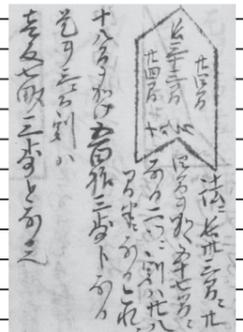
これまでの「町史編さん室だより」 第1回～第50回

町史編さん室だより

「町史編さん室だより」は『広報みしま』平成28年2月号からはじまり、今回で第100回を迎えます。これまで、町史を編さんしていく上で明らかになった安土桃山時代から昭和時代にかけての様々な物事を紹介してきました。刊行された『三島町史』に詳しく掲載されたものもあれば、現時点では「町史編さん室だより」でしか触れていない内容もあります。今回と次回で第1回から第99回までの表題を一覧にして掲載します。ご興味のある表題があればお手元にある広報のバックナンバーをご覧ください。もっと詳しく知りたい方は、町史編さん室までご連絡ください。

☎ 交流センター山びこ ☎ (52) 2165 第100回

表題	発行年月
第1回 寛文六年滝谷組風土記並金山谷寄	平成 28 2
第2回 現存する三島町最古の古文書 慶長二年六月桑原と宮下田島出入之儀無事二付覚書之事	平成 28 3
第3回 大間方村盛衰栄枯之旧伝御尋二其覚	平成 28 4
第4回 桑原村貧窮百姓より家作金拝借願い	平成 28 5
第5回 二百年前、大谷村が塞き止め湖に沈んだ災害の記録 二瓶治右衛門『御用勤覚書』	平成 28 6
第6回 貴重な近世初期の年貢割付状 「大沼郡桑原村定当請けの事」	平成 28 7
第7回 違変の世になれば身命を差し上げ御供します 「文久元年 宮下村桑原村と会津藩土宮下左衛門君臣の誓約書」	平成 28 8
第8回 大谷・間方・滝谷・西方はお江戸時代の宿場町 文化三年『大谷組地志書上帳』	平成 28 9
第9回 葛の根取り合わせ食事に仕り候 天明凶作飢饉の実態を書き上げた『大谷組御用留帳』	平成 28 10
第10回 死つぶれ多く手余り高持て余し候 天明の大飢饉、間方村の実態が明らかに『大谷組御用留帳』	平成 28 11
第11回 奥会津全体を巻き込んだ大騒動が発生 御蔵入惣百姓十三ヶ条御訴訟	平成 28 12
第12回 西方街道、塩の道を守った村々 幕末嘉永年間「大山古道改修願末一件」より	平成 29 1
第13回 江戸時代の庶民生活 文化四年三月『大谷組地志方風俗帳』をひも解く	平成 29 2
第14回 『三島町史』資料編「近世文書」の特色 一庶民の生活を活写した貴重な史料集	平成 29 3
第15回 山と生きる 炭焼きの記憶（浅岐地区）	平成 29 4
第16回 土地の呼び名と利用（浅岐地区）	平成 29 5
第17回 浅岐のゼンマイ採り（浅岐地区）	平成 29 6
第18回 間方、浅岐の木地挽（浅岐・間方地区）	平成 29 7
第19回 聖なる場 前坪山麓（間方地区）	平成 29 8
第20回 タネがえし（間方地区）	平成 29 9
第21回 多種で広範な商取引「三谷屋常松」（大谷地区）	平成 29 10
第22回 江戸時代からのアサの栽培記録（大谷地区）	平成 29 11
第23回 新田の開発と他村・他地域との交流（大谷地区）	平成 29 12
第24回 滝谷川の利用（滝谷地区）	平成 30 1
第25回 磐梯町にある山ノ内俊基之墓（滝谷地区）	平成 30 2
第26回 滝谷地区 道を維持すること 道中を守る馬頭観音	平成 30 3
第27回 大登と新潟	平成 30 4
第28回 江戸時代の大登村 磐梯町入倉にある滝谷・山ノ内俊基之墓（第25回）	平成 30 5
第29回 大登の道	平成 30 6
第30回 伊勢参りと御師	平成 30 7
第31回 産子養育御手当—江戸時代にあった「児童手当」	平成 30 8
第32回 村々の獵師鉄砲と威鉄砲、そして戊辰戦争	平成 30 9
第33回 江戸時代の算法と検地	平成 30 10
第34回 江戸時代の医療—村医師と診療録—	平成 30 11
第35回 —「大石組地震」と避難者を受け入れた村々—	平成 30 12
第36回 —江戸時代の村々における決まりごと—	平成 31 1
第37回 大谷村—水害常習地域の土地慣行	平成 31 2
第38回 明治初期における各村の物産取調	平成 31 3
第39回 明治初期における桑原村物産書上	平成 31 4
第40回 会津桐の殖産と小松中正	令和 1 5
第41回 沼田街道の開修（前） 寛政5年川井名家の手控帳より円形の面積を求める例題（第33回）	令和 1 6
第42回 沼田街道の開修（後）	令和 1 7
第43回 山内為之輔が書き遺した西方村の戊辰戦争	令和 1 8
第44回 悲願の鉄道延伸、その陳情運動	令和 1 9
第45回 三島町の明治から戦前の合併 十四ヶ村から二ヶ村へ	令和 1 10
第46回 若松県西方出張所	令和 1 11
第47回 滝谷風穴の蝨種冷蔵	令和 1 12
第48回 今から百年前の第一回国勢調査	令和 2 1
第49回 桑原で生まれ、八丈島で医師となった河越逸記	令和 2 2
第50回 明治期の公衆衛生と赤痢病の流行 昭和9年柳津只見小出間鉄道構想の略図（第44回）	令和 2 3



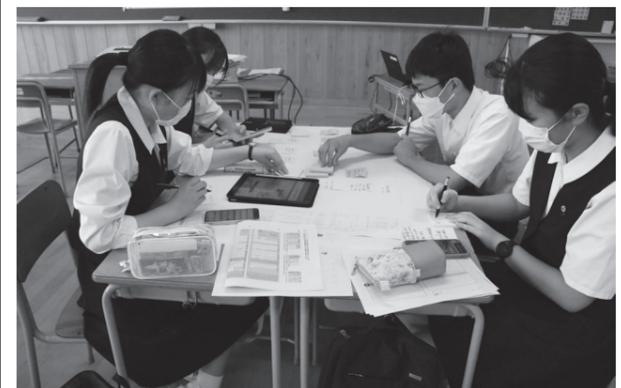
国環研だより 第69回

ふれっく



将来を担う高校生との対話プログラム 「環境カフェふくしま」

三島町のみなさま、こんにちは。今回は福島拠点が行っている「環境カフェふくしま」を紹介します。「環境カフェふくしま」は、高校生を対象とした、環境課題に関する対話を通じて、問いを立てる力、質問力、探求力、観察力、理解力などの科学技術リテラシーを身につけることを目的としたプログラムです。国環研の研究者がサポートしながら、気候変動をはじめとした様々な環境課題について、その影響を最も受ける若い世代の皆さんに関心を持ってもらい、考えてもらうことも大きな目的としています。



▲ 2023年度環境カフェふくしまにて対話を行う生徒たち

環境カフェふくしまは福島県郡山市にある安積黎明高校の化学部の生徒を主な対象として2021年から開催してきました。プログラムは1年を通して毎月1回のペースで行われ、福島拠点の研究者からの講義や、それに対して参加者が対話をして意見交換や考えを整理するワークショップ、関連のニュース記事や先行研究を調べてもらう調べ学習などを行います。テーマは開催年毎に変わり、「脱炭素社会について」「持続可能な社会」といった、気候変動や自然共生などの環境課題について生徒たちに考えてもらいました。

また、年度末には国環研も入居している福島県環境創造センターのコミュニティ福島にて、参加者がそれぞれ1年間で学んだことを踏まえてそれぞれ設定したテーマについて調べたり、考えたりしたことを発表する活動報告会を行います。例えば3年目に開催

した活動報告会でのテーマは「2030年に郡山市が温室効果ガス50%削減を実現するための提案」というものでした。それぞれグループに分かれ、「郡山の特色を生かした森林の活用」「エネルギーと環境の両立と課題」「フードマイレージから見る郡山での地産地消」という観点から、調査したデータや現状の課題をまとめ、提言を行いました。福島拠点の研究者や郡山市の職員も参加して発表に対しての意見交換、ワークショップによる交流が行われました。環境カフェふくしまに参加した高校生たちからは、「今まで環境について深く調べたことがなかったがこれをきっかけに意識が高まり、これからも関心を持ち続けたい」「専門家との交流で自分の知らなかったことがたくさん出てきてもっと視野を広げたいと思った」といった感想があり、多くの参加者にとって新たな気づきを得るきっかけになったと思います。

環境カフェふくしまは今年度から安積黎明高校の「総合的な探究の時間」と連携した取組みとして続けることになりました。内閣府が調査した世論調査では、環境問題に対して関心があると答えた人の割合が、他の世代より若い世代が低いというデータもあります。大人だけではなく、将来を担う若い皆さんにも普段暮らしている地域の環境について興味を持ち、考えてもらうことはとても大切なことですので、そのきっかけづくりの一つとしてこれからも取組んでいきたいと思えます。

【出典・参考文献】

対話で環境を学び合うプログラム「環境カフェふくしま」を安積黎明高校で行いました
～オリエンテーション、第1回から第6回～
<https://www.nies.go.jp/fukushima/magazine/event/kankyocafe01.html>
「気候変動に関する世論調査」（内閣府）
<https://survey.gov-online.go.jp/r02/r02-kikohendo/>

筆者 常盤 達彦

☎ 国立環境研究所福島地域協働研究拠点

地域環境創生研究室 ☎ 0247 (61) 6572

いつ・どこに・そしてなぜ

次にクマが出没した時期や、出没のあった場所についてです。

通常であれば、クマが人里に多く出没するのは、畑のスイカやカボチャ、トウモロコシ等を狙って来る7～8月ころ、民家近くの栗や柿を狙ってくる10～11月ころとされています。また、クマは臆病な動物なので、人が多い住宅地にはめったに姿を現さないとされています。ところが令和5年度は、以前までは出没のなかった住宅地でも出没が多く見られました。

住宅地に大量出没した原因は、民家の近くに植えられた柿の木と考えられます。

昨年、柿が原因と思われる出没は65件あり、出没全体の約4割を占めています。クマは冬眠の前に栄養を蓄える必要がありますが、山に食べるものがないことから、柿の実を食べようと人里に下りてきたのだと考えられます。また、令和2年の大量出没以降、人里をエサ場と思っているクマが増えつつあるということも考えられます。

表2 令和5年度のカマ出没情報(月、地区ごと)

出 没 月	出 没 場 所													合 計	
	宮下	桑原	大登	川井	松原	滝谷	大谷	浅岐	間方	西方	大石田	名入	滝原		早戸
R5.4月															0
5月				1		1					5				7
6月		3				3	3				8				17
7月		3		2	1	1		1			1				9
8月		1		2		2				4	9			1	19
9月				2				3	1	1	2	1	3	2	16
10月	4	3		2	5	1	3			14	3	4		1	40
11月	4	4	5	1	7	1		1	1	5	3	3		1	36
12月										3					3
R6.1月	1									1					2
2月										1					1
3月	1														1
合 計	10	14	5	10	13	9	9	3	2	30	30	10	2	4	151

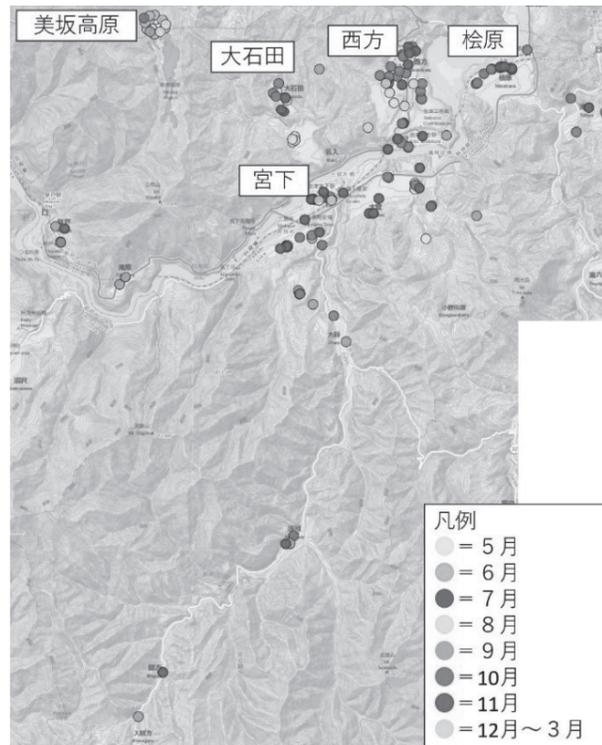
おわりに

昨年は稀に見るクマの大量出没となった訳ですが、残念ながらこれで終わりではありません。

クマは記憶力が非常に良く、エサを得ることができた場所を忘れることはありません。このことはすなわち「昨年クマが出没した住宅地に、今年以降もクマが出没するおそれがある」ことを意味しています。

クマの進入を防ぐには、人里をクマにとって魅力のない場所、つまりクマがエサを食べられない場所にする必要があります。「生ごみを外に放置しない」「クマの被害にあったことのある柿は早めに収穫する。」などの方法が考えられますが、まずは個人でできることを、できる範囲でやってみてください。

私も、町をクマから守るためにできることを考え、実行していきたいと思っています。みなさんと協力して町をクマから守っていきましょう。



【 地域おこし協力隊 鈴木 亮 】



野崎 遥 (25)
【福島市 出身】

お子様が安心して楽しく保育所生活を送ることができるよう、精一杯努めてまいります。よろしくお願いいたします。



鈴木 優介 (19)
【会津美里町 出身】

三島町のことを知り、地域活性に貢献していきたいと思っています。不慣れな部分も多いですが、どうかよろしくお願いいたします。



齋藤 新太郎 (27)
【柳津町 出身】

これまでの経験やスキルを活かし、チームの一員として三島町に貢献できるよう努めてまいります。皆さまと一緒に働くことを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。



青木 実緒 (20)
【喜多方市 出身】

わからない事ばかりで皆さんに沢山迷惑をおかけすると思いますが、頑張りますのでよろしくお願いいたします。

『今年もクマにご注意を！！』
～令和5年度 カマ出没情報～

みなさんこんにちは。地域おこし協力隊で鳥獣対策専門員として活動している鈴木と申します。昨年9月から、私が三島町で働き始めて半年が経ちました。この間、鳥獣被害に関する様々な動きがあり、対策をするには町民のみなさんの理解と協力が不可欠であると感じています。そこで町民のみなさんが鳥獣被害についての理解を深めるため、昨年度のツキノワグマ出没情報をお伝えしたいと思います。

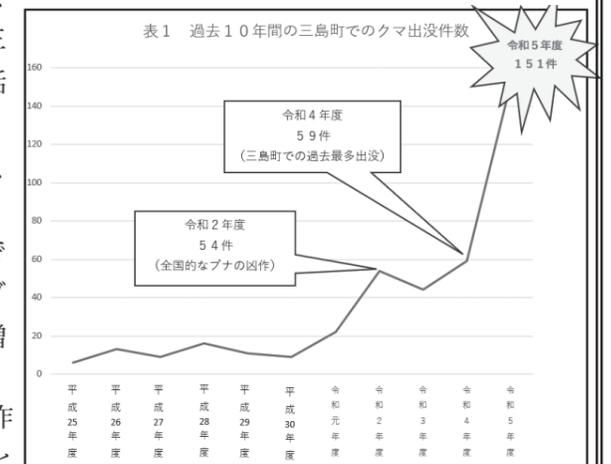
令和5年度は「大・大量出没」

昨年度は、全国的なブナ(ドングリ類)の不作により、クマがエサを求めて大量出没したといわれています。三島町でもドングリは不作で、町内でクマが出たという話を耳にした方も多かったと思います。

実際三島町ではどのくらいクマの出没があったのか、まとめたものが右のグラフになります。

過去10年間の出没数と比べてみると、令和元年までは年間10数件前後で推移していたのが、令和2年のブナの凶作を境に増加に転じ、令和5年は非常に大きく増加していることが分かります。

これは令和5年のブナの凶作に加え、前年がブナの豊作であったことから、クマの数が増加していたことも原因と考えられます。



愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ「三島通信」で健康教室を放送中です。5月は「带状疱疹」についてです。ぜひご覧ください。



福島県立宮下病院 ☎ (52) 2321

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました(3月分)

ふるさと納税

小柴 謙 様 (会津若松市)
小池 ケイ子 様 (会津若松市)
寄附件数8件 計 337,000円

5月分納税のご案内

【納期限 5月31日(金)】

- ▼ 国民健康保険 (第1期)
 - ▼ 介護保険料(普通徴収)(第1期)
- 忘れずに納付してください。
町民課 町民係 ☎ (48) 5555

お悔み申し上げます

片山 長一郎 様 (96才・松原)
細堀 キヨ子 様 (95才・宮下)
菅家 藤幸 様 (92才・間方)
小柴 八千代 様 (98才・名入)

町の人口と世帯(4月1日現在)

人口	1,369	増減数	-5	出生	0
男	693		-2	死亡	8
女	676		-3	転入	7
世帯	684		-3	転出	4

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

川井友愛サロン 5月13日(月) 午前10時から 川井集会所 大登サロン 5月13日(月) 午後1時30分から 大登生活改善センター ひまわりサロン 5月17日(金) 午前10時から 町民センター サロンなごみ 5月17日(金) 午前10時から 西方ふるさとセンター ほがらかサロン 5月24日(金) 午前10時から 森の校舎カタクリ	サロンないり 5月27日(月) 午前10時から 名入集会所 高清水・小山 いきいきサロン 5月27日(月) 午前10時から 高清水集会所 大石田友遊サロン 6月3日(月) 午前10時から 大石田集会所 川井友愛サロン 6月3日(月) 午前10時から 川井集会所 桧原はつらつクラブ 6月4日(火) 午前10時から 桧原集会所
--	--

◆社協会長杯グラウンドゴルフ大会◆

5月31日(金) 町営グラウンド
午前8時30分 集合 / 午前9時 競技開始

◆心配ごと相談(人権相談)◆

6月3日(月) 福祉センター
午前9時30分から午前11時30分まで

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

細堀 栄一 様 (宮下)
菅家 幸二 様 (間方)
小柴 道雄 様 (名入)

社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

東北電力からのおねがい

『放水に注意!!』

発電所やダムから水を流したときの水難事故を防ぐため各所に注意札を立てております。水を流すときは、スピーカーやサイレンによってお知らせしますので、河原にいる人は危険ですから、すぐ安全な場所に移動されるようお願いいたします。

〈次のときにスピーカをならします〉

- ① ダムから初めて水を流す約10分前
- ② 発電所から初めて水を流す約10分前
- ③ 発電所の出力を増やし水を多く流すとき

【放送内容】

「今から川の水が急に増えます。河原にいる人は危険ですから、すぐ上がってください。」
※毎日9時にスピーカーの音を実際に鳴らして、装置の点検を行っております。

〈次のときはサイレンをならします〉

- ① ダムの流量が毎秒1,000m³に達したとき
- ② ダムの流量が毎秒2,000m³(洪水量)に達したとき
- ③ ダムの流量が洪水量オーバー後毎秒1,000m³増加毎

【警報内容】

サイレン	サイレン	サイレン
■■■■ 休み	■■■■ 休み	■■■■
50秒	10秒	50秒

〈問い合わせ〉

東北電力株式会社 水力運用センター
只見川ダム管理所
阿賀野川水系ダムの状況を当社HPから閲覧できます。
東北電力HP - 発電・エネルギー・DX
- 阿賀野川水系ダム情報



水力運用センター ☎ 0242 (26) 6862
只見川ダム管理所 ☎ 0241 (52) 3422

会津坂下警察署からのお知らせ

SNSを利用した詐欺が急増中!

LINEやフェイスブック、マッチングアプリなどのSNSを通じて、直接顔を合わせることなくメッセージのやり取りをすることにより関係を深めて信用させ、指定した口座にお金を振り込ませるといった手口の詐欺が急増しています!

県内では令和6年1月から3月末まででなんと3億2,820万円もの被害が出ています。

SNSを利用した詐欺の中でも、「投資すれば必ず儲かる」などと投資アプリに誘導し、投資資金や手数料としてお金をだまし取るSNS型投資詐欺や、恋愛感情や親近感を抱かせ、交際の必要経費や投資としてお金をだまし取るSNS型ロマンス詐欺が増えています。SNS型ロマンス詐欺は外国人を名乗って近づいてくることもあるようです。

- 投資すればお金が増えるといった甘い話には乗らない。
 - SNSで交際関係になっても、お金の要求や投資の話がでたら詐欺を疑う。
 - 詐欺かもと思ったら1人で悩まずに家族や警察に相談する。
- これらを守って詐欺の被害を防ぎましょう!

会津坂下警察署警務係 ☎ 0242 (83) 3451

消防署からのお知らせ

〈春に火災が多く発生する理由と対策とは〉

春になり、空気の乾燥する季節となりました。風の強い日が続くことから、タバコの不始末などの、ちょっとしたことにより悲惨な火災が各地で多く発生します。以下の4点に注意し、安全に暮らせる町づくりにご協力をお願いします。

- ① 野焼きは行わない。
- ② マッチ、タバコ等に火をつけた後は確実に消火する。
- ③ 火気の近くに燃えやすいものを置かない。
- ④ ガソリン等の引火しやすいものの近くで火気を使わない。

会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032 / FAX (52) 3033

第38回

ふるさと工芸まつり

作る人の手から

使う人の手へ

2024年6月8日(土)・9日(日)

午前9時～午後4時(9日(日)は午後3時まで)

会場 三島町生活工芸館前ナラ林広場

展示即売

体験交流

飲食ブース

同時開催 てわっさの里まつり・山と木の市場

三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

町長日記「持続可能な市町村は②」

No. 99

経済界有志や有識者らで組織し 計算ができています。

ています「人口戦略会議」が4月 2023年の出生数は過去最低

24日に報告書を発表しました。あ の75万人で予測より低く、少子化

くまでも推計ではありますが、福島 は想定を上回るスピードで進み、

県における消滅可能性自治体は、 10年以上早く進行しています。

県内33市町村と公表し、県内新聞 過去の「成長」という価値や夢

や全国的新聞も大きく取り上げま を追うのではなく、この課題は経済

した。また将来的には全国で滅可 の問題でありますが、しかし国の

能性自治体の市町村は744自治 全体の仕組みを変えていかなけれ

体で全体の約40%に当たると報告 ばと考えています。

されています。 地方を支える地域のコミュニ

福島県の自治体は、浜通り13市 ティー等々の施策の充実を継続す

町村を除いて、県内には自立持続 ることにより、若者が安心感を抱

可能性の高い自治体はなく、「消 ける日本を創造する、人口減少対

滅可能性」は県内33市町村自治体、 策を展開することが必要と考えま

また該当しなかった4に自治体を す。

含めて、県内全体の大きな課題と この課題に社会全体でチャレン

して考えて行く必要があると考えま ジする事が子ども基本法の確実な

す。 「持続可能な三島」を創造する事

なお、浜通りの13の市町村は、 だと考えています。長い人口減少

東日本大震災と原発事故を受けて 抑制とチャレンジをすることが、

おり、13市村個別の算出はしてお 次の世代にバトンを送る責務であ

らず、13市町村が1つの自治体と ります。

して考えると、消滅の可能性があ

る自治体は7割に達するという

三島町長 矢澤 源成

発行 三島町 編集 三島町役場 地域政策課

〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 350 ☎ 0241 (48) 5533

ホームページ http://www.town.mishima.fukushima.jp

印刷 三洋印刷株式会社